

# Aichi あいちの学童保育

県連協ニュース 2022 No. 4

2022年 12月6日発行  
愛知学童保育連絡協議会



TEL : 052-872-1972 FAX : 052-308-3324  
Email : aichigakudou@gakudou.biz

## 第57回全国学童保育研究集会

が開催されました



2022年10月29日(土)30日(日)は第57回全国学童保育研究集会が開催されました。昨年に引き続きの、オンライン開催となりました。愛知からは278名の参加がありました。全国研PT(プロジェクトチーム)より感想が届きましたので掲載します。

### 【1日目】\*・\*・\*・\*・\*

全体会でのオープニングでは、全国の学童保育所がライブ配信され、愛知からは、名古屋市港区の中川学童保育所が配信されました。中川学童のクラブ室の様子や、音楽や絵本のある学童保育所のあたたかい様子が、全国に発信されました。はじめての試みであるこのオープニングのライブ配信は、学童保育ならではの、くすっと笑えるようなアクシデントもありながら、歓迎行事として全国でつながり合える瞬間にもなり、第58回にもぜひ、全国でつながり合えるといいなという感想が多くあがりました。

記念講演は、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんによる「紛争地・被災地に生きる子どもたち～7月にかけて取材から見てきたこと」でした。記念講演の時間

はあっと言う間にすぎ、映像に映し出される写真に合わせ、安田さんからの紛争地や被災地での現場の様子を聞く事で、心がぎゅっとつかまれるような思いになりました。テレビのニュースやスマホのニュースで普段見聞きする紛争地や被災地に関する情報だけでは、何も理解もできていなかったのだと感じる瞬間でもありました。そして、東日本大震災から11年がたち、時が流れていく中で、当時の現場を知らない私たちがこのまま知らないままでもいいのか?と考えさせられました。

### 【2日目】\*・\*・\*・\*・\*

今年度愛知では、第2分科会②「学童保育の生活の見通しと流れ」、第12分科会①専任・常勤・複数体制の確立、労働条件の確立、第20分科会「子どもの発達と学力」の配信連協を担いました。ホスト、受付、世話人それぞれ分科会に配置されました。分科会では300人を超える大規模な分科会もありましたが、大きなトラブルもなく無事分科会を終了することができました。

### 【今後にむけて】\*・\*・\*・\*・\*

愛知県連協では、ICTチームが一昨年のあいち学童保育研究集会より発足しました。あいち学童保育研究集会、全国学童保育指導員学校西日本会場、そして全国学童保育研究集会と、各プロジェクトチームや実行委員と協力しながら活動しています。今後、リアル開催が実現できる事は大きな課題ではありますが、遠方からでも参加しやすいというメリットを考慮すると、オンライン併用については今後も活用されると思われます。ICTについては日々の進歩が早く、多くの情報を必要とします。愛知県内でICTチームの仲間がもっと増えると、もっともっと様々な会が盛り上がっていくのではないかと感じています。全国研を通して、仲間ともつながりあい、会の成功にむけて関わりを持つ、全国研PTでもメンバーを募集しています。愛知県内のさまざまな地域からともに応援していくメンバーが増えるといいなと願っています。

全国研の参加申し込みに向けて、地域でのお声がけにご協力いただきありがとうございました。



全国研PT・ICTチーム 保護者OB

## 全国学童保育連絡協議会定期総会が開催されました

10月23日(日)、全国学童保育連絡協議会2022年度定期総会が開催されました。コロナ禍以前は、全国研究集会の前日に全国研開催地で開いていましたが、ここ2年はオンライン開催でした。今年は3年ぶりに東京現地もありのハイブリッド形式で行われました。

総括・決算報告・運動課題についての基調提案・方針・予算の順に提案と意見交換を行いました。決算報告では、昨年度の「日本の学童ほいく」誌値上げにも関わらず部数が維持されてきたことが挙げられましたが、諸般の物価高騰により製作費やその他経費も上がるので、このままの部数では値上げ分は相殺されるとの見通しが示されました。

### 運動方針の重点課題としては

- ①子どもの権利が保障され、子どもが安心して豊かに育ちあえる学童保育と地域社会の実現をめざします。
- ②コロナ禍を踏まえた学童保育制度の拡充を求めます。
- ③指導員の「常勤・複数・専任」配置および正規職員配置の必要性を改めて提唱するとともに、指導員の確保・定着にむけた方策を研究、提言していきます。
- ④子ども・保護者・指導員が置かれている現状や課題をもとに、全国連協の役割を確かめ、組織強化を図っていきます。

以上4点を確認しました。学童保育は新しく発足する「こども家庭庁」の管轄に入ります。この省庁で学童保育がどう取り扱われるのかははっきりしないところがあり懸念されます。「放課後児童クラブの設備及び運営の基準」に、従うべき基準を早急に再確立すること、参酌基準に従うべき基準に転換していくことを目指す取り組みが大事になってくると思います。6月国会でわたしたちの請願「学童保育の拡充」が採択されたことを励みに、愛知県内でも考え行動していきましょう。

最後に新会長として三多摩連絡協議会(東京都)の戸塚さんを選出し閉会しました。全国連協役員として、愛知からは専従職員の賀屋さんを送り出しています。また「日本の学童ほいく」誌は全国の加盟連協の内、12道府連協から編集委員を選出しており、愛知からは津島市・伊藤さんに頑張ってもらいます。会員の皆さんも、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。

## 第39回あいち学童保育研究集会について

第39回あいち学童保育研究集会は、2023年3月5日(日)に開催されます。キャッチコピーは「**輝け！学童保育～マスクの下でも笑顔は忘れない～!**」です。今年度は、オンラインと現地の併用を検討しています。分科会の詳細、あいち研究集会ニュースなどなど、最新の情報をあいち研究集会HPより随時更新していきます！また、毎年恒例のカウントダウンについては、愛知県連協SNSにおいても更新していきますので、お楽しみに。

あいち研究集会のHPはこちら



ポスターも現在準備中です！

## 補助金活用コラム

教えて賀屋さん♪



11月の運営委員会では、地域連協の補助金活用状況について交流を行いました。補助金メニューもたくさんあり、理解をするのも難しいのが現状です。とくに、毎年かわる保護者会役員さんにとって、学童保育の補助金についての理解を深めるのは極めて大変なことです。

前回より、補助金活用コラムと称して連続掲載を行っています。今回のテーマは「**放課後児童クラブ育成支援体制強化事業**」についてです。

2021年度から「放課後児童クラブ育成支援体制強化事業」が開始されました。金額としては2021年度1,443,000円(1か所あたり年額)から2022年度1,444,000円(1か所あたり年額)と変化はほぼありません。この補助金ができた経緯について、まず考えてみたいと思います。

国の学童保育指導員の働き方の考え方は 12 時-18 時の 6 時間でした。全国学童保育連絡協議会は準備時間やふり返りの時間・打ち合わせの時間の大切さから 6 時間では足りないということをながく訴えてきました。厚生労働省も、全国学童保育連絡協議会の考え方を理解し、保育前か保育後に保育以外の時間を保障することが必要と考えられて来たときに、「子ども・子育て支援新制度」が 2015 年度からはじまり、18 時半以降開所するための長時間働く常勤職員の配置が優先されることになりました（こちらについては後日）。また、保育時間が長くなったことにより、保育時間で常勤職員に該当することになりましたので、それまでの考え方（勤務時間を延長することで学童保育指導員が保育以外の業務をおこなう）では、通用しなくなった状況がうまれました。

以上のことから

1. 学童保育には保育以外の仕事がある
2. 学童保育指導員は学童保育の長時間開所のために常勤配置を基本とする

（保育以外の仕事をするのは時間的に無理である）

という方向になり、「放課後児童クラブ育成支援体制強化事業」が始まったと考えられます。そのため要綱は「遊び及び生活の場の掃除等の運営に関わる業務や児童が学習活動を自主的に行える環境整備の補助等、育成支援の周辺業務を行う職員の配置等に必要となる費用を補助」となっており、**学童保育指導員が兼ねることは不可**となっています。

「放課後児童クラブ育成支援体制強化事業」を活用し、学童保育指導員の常勤配置と周辺業務の学童保育指導員以外へのアウトソーシング（将来的には施設長や用務・業務担当者の配置が出来る施策）をすすめることが、学童保育施策の拡充に繋がると考えられます。



#### 【事業内容】

- (1) 運営事務等を行う職員の配置等 保育内容の向上を図るため、保育を行う職員に加え、運営事務等を行う職員の配置等を行う。
- (2) 運営事務等を行う職員の業務 運営事務等を行う職員は次の業務を行う。
  - ①業務の実施状況に関する日誌（子どもの出欠席、職員の服務に関する状況等）の作成

②おやつが発注、購入等

③遊びの環境と施設の安全点検、衛生管理（清掃や消毒等）、整理整頓

④会計事務等

⑤子どもの宿題等の学習活動が自主的に行える環境整備の補助

⑥その他、運営に関わる業務や保育の周辺業務

(2)の業務を外部委託等により実施し、当該費用を学童保育で行う者が委託費等として支出する場合も本事業の対象となる。

### みんなで話そう学童保育ひろば in 尾張旭 開催のお知らせ

2020 年、2021 年と新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっておりましたが、「みんなで話そう学童保育ひろば」は 2022 年度開催に向けて動きだしています。今年度は、**尾張旭市**を開催地として現在準備中です。詳細はまだ決まっていませんが、日時は決定しましたので、是非ご予定ください。なお、詳細については、後日発行されますチラシをご覧ください。愛知県連協 HP や SNS でもご案内いたします。

**日時**：2023 年 2 月 5 日（日）午後～

**開催方法**：Zoom によるオンライン開催

**参加費**：開催地域・愛知県連協会員は無料！

一般参加者は 500 円

スペシャルゲストとして、**絵本作家の「サトシンさん」**をお招きし、第 1 部にオンラインにてお話していただきます。



**みんなで話そう学童保育ひろば**は、毎回、学童保育における各地域で抱える問題や多岐にわたる課題などからテーマを取り上げ、年 1 回のペースで開催しています。

### 一人ひとりの声を国と自治体に届けよう

「一人ひとりの声を国と自治体に届けよう」の取り組みは、2021 年と 2022 年の 2 年をかけて取り組んできました。愛知学童保育連絡協議会では、2023 年 1 月末までの取り組みとしてラストスパートの時期に入りました。2022 年度は、1 つひとつの課題を深掘り

し、実態を明らかにして、国や市町村へ現場の声を伝えていく取り組み、そして学びを深める機会として、2ヶ月ごとにテーマをきめてピックアップしてきました。テーマに沿って愛知県内の学童保育情報も合わせて掲載しています。これまで掲載しているテーマは以下になります。

4・5月	学童保育指導員の待遇・職場・仕事内容
6・7月	学童保育の施設
8・9月	学童保育指導員の常勤配置・複数体制
10・11月	学童保育のしょうがいのある子の受入れ

※ホームページのトップ画面に今までの掲載がありますので、ご覧ください。

12月と2023年1月は、「ひとり親家庭の学童保育の利用」についてテーマにあげています。ひとり親家庭に対しては、2016年度に国から通知がありました「放課後児童健全育成事業の事務手続きに関する留意事項について」の中で、優先利用の対象とすることが示されています。県内の現状をみても、保育料の軽減措置有無や、優先利用の対象とする地域など、さまざまです。利用や希望のしやすさが、どこに住んでいても、同じ水準で利用できるようにしていくことが求められるといえます。

現場の声を届けることは、学童保育の充実につながる一歩になります。みなさんの、多くの声を沢山お寄せいただきますようお願いします。

2021年度から取り組んできた「一人ひとりの声を国や自治体に届けよう！」の取り組みは、**2023年1月31日**をもって投稿フォームを終了とさせていただきます。今後届いております、みなさまの声につきましては、全国、県担当課、各自治体へお届けしていきます。2年かけて、現場の声を沢山お寄せいただきありがとうございました。



みなさんの声は、Google フォームを用いて集約します。QRコードをスマートフォン等で読み取るか、pdfの方は、クリックして、フォームよりご入力ください。



みなさんの声をおまちしています。一人ひとりの声で、これからの学童保育の未来をつくりましょう。

## ほいく誌コラム

日本の学童ほいく 2022年9月号 P60~62

【出会い 集い 父母会】

つながりが、さらに深まることを願って

筆者の方同様、私の家も共働きで、私自身が育った地域は学童保育所がなかった為、学童はどんなところか、沢山分からないことがありました。

学童も保護者が運営しますよとお聞きし、続けられるんだろうかという不安な気持ちもありましたが、放課後に子どもを一人には出来ないので入所を決めさせて頂きました。

新一年生になって学校に入るまでの数日、同じ学童のお兄ちゃん、お姉ちゃんに触れ合って、子どもから「安心して小学校に行けるよ」と嬉しそうに言われました。

いつも何かあると学童のお兄ちゃん、お姉ちゃん、指導員さんにアドバイスをもらったり、時には助けてもらって学校生活を過ごしていました。子どもに、高学年になったから今度は手助けする番だよと声をかけています。

入所して先輩お母さん、お父さんと交流が持てたことで不安や心配も解消することが多く、入所して本当に良かったと感じました。

新型コロナウイルスの影響もあり、役員は確かに大変な面もありましたが筆者の方同様、役員をやるなら楽しくやろうと思いました。今後も子どもたちが楽しく過ごせるように努めていきます。

(名古屋市 保護者)



### SNS 情報発信のお知らせ

愛知県連協では、県連協ホームページを随時更新し、それに合わせて下記の SNS で情報発信を行っています。LINE のオープンチャットをはじめました！

登録のパスワードは「gakuiku」です。

